

第22回東京都テコンドー選手権大会 要項

【1】名称

第22回東京都テコンドー選手権大会

—第30回全日本フルコンタクト・テコンドー選手権大会 出場選手選考会—
(開催日 2019年11月23日 土曜日 午後5時00分開始
会場 後樂園ホール・東京ドームシティー内)

【2】主催

東京都テコンドー連盟 会長 盛島一盛
担当 西谷信一郎 (090-9387-2061)

【3】後援

日本テコンドー協会

【4】目的

- 1) ルールを尊ぶJTAの試合を通じて東京都民等の健全な精神涵養及び体力増進に貢献する。
- 2) JTAテコンドー愛好家の親睦を目的とする。
- 3) 信義と礼儀を重んじる日本テコンドーを通じた社会教育の意義を高める。
- 4) 第30回全日本フルコンタクト・テコンドー選手権大会出場選手選考
 - ① 一部組手各階級優勝者及び準優勝者で蹴美に秀でている選手には全日本大会出場権を与える。
ただし、<イ>各種空手やキックボクシングのような組手スタイルの選手は除外する。
<ロ>関東圏選手は、重要な組手総見(10月・11月実施)への参加を義務付ける。
不参加の場合、例外なく、出場権を取り消す。
 - ② 一部蹴武の型優勝者には全日本大会出場権を与える。2位は選抜出場推薦候補とする。
 - ③ 少年少女部各種目の優勝者は、昇段している場合に限り、全日本大会選抜出場推薦候補とする。
 - ④ 上記の全日本フルコンタクトテコンドー選手権大会出場者は、
有段者または10月末迄に昇段審査を受験し合格している者に限る。

【5】開催日時

2019年5月18日(土)

15時10分開始 選手集合・受付・計量14:00

当日の日程	13:00	審査受験者かつ試合参加者受付開始
	13:15	第127回春季東京審査会 昇段審査及び昇級審査開始
	14:00	試合参加選手集合・受付・計量
	15:00	昇段証授与式、開会式・試合開始
	18:00	閉会式・表彰式
	18:30	終了・片付
	19:00	解散・完全撤収

【6】開催場所

ヤマトフォーラム

東京都大田区羽田旭町11-1 TEL 03-6756-7106
京浜急行空港線「穴守稲荷駅」より徒歩5分、
駅の出入口を出て左折し、環状8号線に出て
右手のサンクスの交差点を渡り斜め右手方向お円形の建物。

【 7 】 参加資格

- ① JTA有級者（黄帯・7級以上）、有段者。
- ② 健康（持病を隠していた場合、重大な事故につながり、かつ保険もおりない）であり、かつスポーツ安全保険（同上）に加入している者。
- ③ 一部組手は、茶帯～有段者。ただし、男女いずれも満40歳までとする。
全日本大会開催日時点で満40歳とし、男女ともに例外は一切認めない。
一般および大学生は、J T A黒帯道衣を着用しなければならない。貸与等は不可。
後日発覚した場合、当該選手の成績は無効とし、表彰状・メダル等を返却させる。
- ④ 一部蹴武型は有段者。A級、B級の別は自由選択。少年少女部選手も自由に選択出場できる。
一般および大学生はJ T A黒帯道衣を着用しなければならない。貸与等は不可。
- ⑤ 二部組手は、イ) J T Aの1級・茶帯～有段者
ロ) 過去、1年以内のJ T A公式戦で入賞経験を有する4級の有級者。
- ⑥ 二部蹴武型は、有級者。制限なし。少年少女部選手も出場できる。
- ⑦ 三部組手は、黄帯～茶帯。制限なし。中学生の有段者は挑戦できる。
- ⑧ 三部蹴武型は、優勝経験のない有級者に限る。
- ⑨ 少年少女部組手および型試合は、黄帯～茶帯。黒帯は一部少年部へ出場すること。
少年少女部は、事故及び怪我防止のため、ヘッドギア、スネサポーター、J T A公認胴防具、ファールカップ（男子のみ）を着用しなければならない。

【 8 】 試合種目・表彰

最優秀選手1名、トロフィー

一部組手及び一部蹴武型の二種目で優勝（もしくは入賞）。該当者がいない場合もある。
優勝者中、蹴美に秀でている場合に限り第30回全日本F T大会出場権を与える

一、組手試合

1 一部フルコンタクト・テコンドー組手試合

- 1) 軽量級（63未満） 優勝～3位：メダルと賞状
- 2) 中量級（63～73kg未満） 同上
- 3) 重量級（73～90kg迄） 同上
- 4) 女子無差別級 同上
- 5) 小学生有段者無差別級 同上
- 6) 中学生有段者無差別級 同上

2 二部 J T A ライトコンタクトテコンドー組手

- 1) 軽量級（63kg未満） 優勝～3位：メダルと賞状
- 2) 中量級（73kg未満級） 同上
- 3) 重量級（73kg以上90kg迄） 同上
- 4) 女子無差別級（胴防具着用） 同上

3 三部 J T A ライトコンタクトテコンドー組手

- 1) 軽量級（63kg未満） 優勝～3位：メダルと賞状
- 2) 中量級（73kg未満級） 同上
- 3) 重量級（73kg以上90kg迄） 同上
- 4) 女子無差別級（胴防具着用） 同上

4 J T A 少年少女部

ライトコンタクト・テコンドー特別ルール組手

*有級者の試合である。有段者は一部へ出場すること。身長と体重を考慮し統合する。

- 1) 少年部丙（小学校1～2年生） 優勝～3位：メダルと賞状
- 2) 少女部丙（小学校1～2年生） 同上
- 3) 少年部乙（小学校3～4年生） 同上
- 4) 少女部乙（小学校3～4年生） 同上
- 5) 少年部甲（小学校5～6年生） 同上

- | | |
|-------------------------|----|
| 6) 少女部甲 (小学校5～6年生) | 同上 |
| 7) 中学生男子軽量級 (身長と体重による) | 同上 |
| 8) 中学生男子無差別級 (身長と体重による) | 同上 |
| 9) 中学生女子無差別級 | 同上 |

注意 エントリー人数に応じて統合する場合があります保護者は主催者に一任することを予め同意して下さい
 少年部・少女部組手の1回戦は、最もエントリー選手中、最も体重差が少ない選手と対戦予定。
 ルールは一本勝ちを禁止しているライトコンタクト・テコンドー・ルールであり、
 選手双方がルールを守っていれば事故が起こることはありません。
 体重差と身長を考慮し、統合が合理的と認められる場合は主催者の判断により統合します。
 たとえば(過去の事例)、少女部丙にエントリーした小2女子(体重23kg)が1名、
 少女部乙にエントリーした小3女子(体重25kg)が1名の場合、
 「小学生低学年女子」として統合しワンマッチを行います。

二、蹴武型試合 (全種目男女混合)

- 1、一部蹴武の型試合 (全日本大会本予選)
 - 1) A級 優勝～3位：メダルと賞状
 - 2) B級 同上
 - 3) C級 (少年少女部) 同上
- 2、二部蹴武の型試合 優勝～3位：メダルと賞状
- 3、三部蹴武の型試合 同上
- 4、少年少女部
 - ①小学生低学年 (3年生以下。未就学者可) 優勝～3位：メダルと賞状
 - ②小学生高学年 (4年生～6年生) 同上
 - ③中学生 同上

【9】 試合ルール等

- 注意 1** 計量は1回のみとする。パスしない場合は失格とし参加費は返金しない。
自己流の減量は極めて危険である。無理な減量は禁止。死亡事故がおこる。
- 注意 2** すべての種目は、一定数のエントリーに達しない場合、統合する。
 参加者(未成年者の場合は保護者)は、上記を予め同意しなければ試合にエントリーすることはできない。
 中学生型と小学生高学年型、または小学生高学年型と小学生低学年型を統合する場合もある。

一、組手試合ルール

日本テコンドー協会試合ルールによる

注意 選手は本部ホームページを必ず一読

- ①一部 JTAフルコンタクトテコンドー・ルール (蹴美7WILLルール)
- ②二部、三部 JTAライトコンタクトテコンドー・ルール
- ③JTAライトコンタクトテコンドー・ルールに基づく少年少女部特別ルール

2、試合時間、判定基準等

- 1) 試合時間
 - ①一部・二部・三部 本戦2分 1R
 延長戦2分 (1R迄)。再延長戦で決着がつかない場合、体重判定とし、軽い選手を勝者とする。

②中学生 本戦1分30秒 1R。

延長戦1分(1R迄)。延長戦で決着がつかない場合、体重判定とし、軽い選手を勝者とする。

③少年少女部 本戦1分 1R。

延長戦1分(1R迄)。延長戦で決着がつかない場合、体重判定とし、軽い選手を勝者とする。

2) 敵点2、又は注意6で「失格」とする。

3) 実力差が著しい場合又は戦意喪失が認められる場合、主審権限により「棄権」を宣告する。

4) すべての試合は、判定の際、蹴美力の優劣を重視する。

5) 試合中、コンタクト・レンズがはずれても中断しない。万一、中断した場合、減点1とする。

2, その他

本大会は、全日本大フルコンタクトテコンドー選手権大会予選会のため、同大会のルールに準ずる。
ただし、予選会における蹴美審判は1名とする。

二、蹴武の型・試合ルール

日本テコンドー協会試合ルールによる

注意 選手は本部ホームページを必ず一読

①一部A級 J T A A級蹴武型ルール

②一部B級および一部少年少女部 J T A B級蹴武型ルール

③その他 J T A C級蹴武型ルール

< C 級蹴武型ルール

選手は、蹴武の型を自由に選択し、試合を行う。

ただし、連続して同じ型を演武することはできない。二つ以上の型を準備すること。

選手は級位・段位、年齢を問わず本戦において同じ型を連続して演武することはできない。

たとえば、1回戦で清衡を演武し勝利した場合、2回戦は清衡以外の型を演武しなければならない。

延長戦の場合も、本戦とは別の蹴武の型を演武しなければならない。

黄帯・7級の選手は、必ず南洲と青淵を修得していなければ試合に参加することはできない。

延長戦も本戦同様、選手が本戦と同じ蹴武の型を演武することはできない。

たとえば、本戦で龍馬を演武し引き分けた場合、延長戦は龍馬以外の型を演武しなければならない。

なお、たとえば、本戦1回戦で謙信を演武し引き分け、延長戦を義家で勝利した場合、

2回戦本戦では謙信を演武することができる>

【10】大会出場締め切りと申込手続き

締切り 2019年5月10日 (当日消印有効)、

参加費用 組手試合のみ ￥4000

蹴武の型試合のみ ￥4000

組手&蹴武の型試合 ￥6000

を下記郵便口座へ振込み、

振込みを証明する控え(コピー可)を参加申込書に添付し、下記まで郵送して下さい。

なお、個々人で申請した場合、1回戦から「同クラブ対決」となる場合があります。

1、参加費振込先

〔口座番号〕 00100-5-568263

〔名義〕 東京都テコンド-連盟

2、申込書送付先

〒140-0013

東京都品川区南大井4-13-15

東京都テコンド-連盟 盛島殿

【11】大会役員

大会会長 盛島一盛 実行委員長 西谷信一郎
審判 武田敬之、吉川 真、井上鉄朗、趙 哲来、小川浩平、松兼ひとみ他
司会 佐藤祐樹 救護 岩下 徹 試合進行 津田 道、他 賞状 趙 智恵

【12】注意事項

- ①試合参加のためには、所属クラブ長の許可（申請書にサイン）が必要です。
- ②電話やFAX、試合申込み期限を超えた試合の申込みは受け付けません。
- ③所属クラブ長に試合参加の意志表示を伝えた場合、棄権しても参加費用は納めて下さい。
- ④理由の如何を問わず一度納入された参加費は返却しません。
- ⑤試合当日の参加費支払いは一切受け付けません。
- ⑥各種保険証の現物を持参して下さい。
骨折などの事故がおきた場合、最寄りの救急病院に運び治療を受けることとなりますので、各クラブ長は病院に付き添う「救急担当者」を予め決めて下さい、
- ⑦契約している保険会社に問い合わせたところ
組手試合中の打撃の伴わない死亡事故・後遺障害・怪我等は保険が適用されません。
例1) 熱中症や過呼吸症候群
例2) 要項には「健康であること」が参加絶対条件であるが、本人が持病を隠して参加し、死亡事故・後遺障害・各種怪我をした場合
例3) 極度の緊張で打撃を伴わず転倒し、死亡事故・後遺障害・各種怪我をした場合
命ほど大切なものではありません。組手試合参加絶対条件である健康か否かは日常の練習中、判明しているはずなので当該責任者は参加させないように指導して下さい。
- ⑧県立武道館では、「ゴミの持ち帰り運動」を実施しています。
各支部は「試合会場美化責任者」を決め、弁当やペットボトルなどのゴミを持ち帰ることを義務づけます。また武道館内は禁煙です。
- ⑨ロッカールームや試合観覧席などでの盗難には十分注意してください。
武道館および大会主催者は一切責任を負いません。

【13】観覧

すべての観覧希望者を歓迎します（無料）。
ただし、大会関係者の指示に従ってください。
ヤジなどの品位の欠ける観覧者は退場していただきます。
武道館の定める飲食禁止場所での飲食や喫煙、試合会場近隣での違法駐車は禁止します。

【14】J T A 試合法一自然災害・台風等に伴う 体育館・武道館の使用禁止の場合の処置

自然災害で体育館・武道館の中止勧告が出た場合、参加費は返金できないという内容。
詳細はJ T A本部HPを参照して下さい。

第22回東京都テコンドー選手権大会参加申込書

大会会長 盛島一盛 殿

私は、下記の事項を誓約します。

- 一、貴大会の大会規約を遵守し、大会関係者の指導、勧告、注意などに従います。
- 二、貴大会の試合ルールを遵守します。とくに、顔面強打は、絶対行いません。
- 三、審判の判定に対する絶対性を尊重し、武道家として模範的行動をとることを誓います。
試合後、万一、判定を不服とした自己の行為が、審判に対する侮辱的行為であると大会主催者からみなされた場合、試合結果の無効、除名や試合出場停止処分などの処罰を受けても異議を申し立てません。
- 四、私は、「テコンドーは、格闘技であり安全ではない」という事実を認識し、自らの意志により、本大会への参加を希望します。それゆえ、試合において如何なる事故が生じても自己の責任として処理し、本大会主催者ならびに貴大会関係者に対し、異議を申し立てないことを誓います。
- 五、私は、自己の所属するクラブを通じて「スポーツ安全協会スポーツ安全保険」に加入しております。
- 六、私は試合で万一、「事故当事者」となった場合、下記の保険内容での処理にあらかじめ同意します。
本大会主催者加入保険（三井海上保険代理店さくら保険と契約）
死亡 1千万、後遺障害（失明など）1千万、入院1日6千円、通院1日4千円
- 七、JTA試合法一自然災害・台風等に伴う体育館・武道館の使用禁止の場合の処置も同意します。
- 八、私は組手試合参加絶対条件の健康な体であることに虚偽はありません。万一、打撃の伴わない死亡事故・重度後遺障害・大怪我等により保険金が支払われなかったとしても大会主催者に対し民事上の異議を申し立てません。上記、誓約し、ここに大会申込書を参加費と添えて提出します。
上記、誓約し、ここに大会申込書を参加費と添えて提出します。

年 月 日

参加者 住所

(ふりがな)

氏名

印

保護者 住所

氏名

印 *18歳未満、高校生以下必要

*記入漏れがある場合、失格となります。

所属クラブ名

参加費振込証明添付

指導者サイン

現級・段

年齢

歳

身長

C m

体重

K g

*のり付けして下さい

過去(最新)の大会成績

出場種目 (組手&型の2種目出場者は、1枚の申請書で2ヶ所に○をしてください)

一部組手 ①軽量級 ②中量級 ③重量級 ④女子無差別級 ⑤小学生無差別級 ⑥中学生無差別級

二部組手 ①軽量級 ②中量級 ③重量級 ④女子無差別級

三部組手 ①軽量級 ②中量級 ③重量級 ④女子無差別級

四部組手 ①少年部丙1～2 ②少女部丙1～2 ③少年部乙3～4 ④少女部乙3～4

⑤少年部甲5～6 ⑥少女部甲5～6 ⑦中学生男子軽量級 ⑧中学生男子中量級 ⑨中学生女子

蹴武型 ①一部A級 ②一部B級 ③一部C級(少年少女)

④二部 ⑤三部 ⑥小学生高学年 ⑦中学生 ⑧小学生低学年以下